

児童デイ便り



まごまごファームができました

暑い日々が続いておりますが、皆様体調など崩されてないでしょうか？

放課後等デイサービスの子供たちは元気いっぱいです。

5月23日(火)に福祉安全部会様と西成連区民生児童委員協議会様のご協力で、野菜の苗植え体験を行いました。

これは児童に「農業体験を機会に野菜作りなどに興味を持ってもらいたい」というスタッフの願いが実現する形になりました。

児童達は初めての体験に戸惑いながらも「元気に育ちますように。」と願いを込めながら植え付けを完了させました。

このような機会をくださった福祉安全部会様と西成連区民生児童委員協議会の岸様に厚く御礼申し上げます。(服部)



デイサービス通信

梅雨に入り、熱中症にも十分に気を付けた生活を送りたいですね。

デイサービスでは、まごころ30周年記念事業に向けての四季の壁画やお花紙で作る造花を利用者様と準備してまいりました。

「365歩のマーチ」の楽器演奏も息ピタリの出来映えです。利用者様とスタッフで支え合いながら続けられて、とても感謝しています。(加藤 愛子)



1cm幅のスティックを細かく切ってモザイク画に…



春夏秋冬の花々を大樹に咲かせた「希望の樹」完成!



♪ 1カ月間練習して「365歩のマーチ」を演奏しました♪

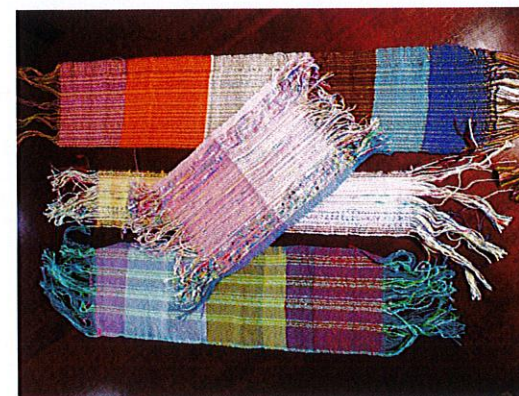
ケアマネジャーの目

あなたが最期を迎えたい場所は？

厚労省の調査(2023年3月速報値)によると、病気で治る見込みがなく1年以内に死に至ると考えた時に最期を迎えたい場所について、自宅としている人は43.8%。その一方でそれまでの医療・ケアを受けたい場所では医療機関が54.8%。「治るなら入院し治療を受けたいが、治らないなら自宅に帰りたい。」これらのニーズを満たすため在宅へのスムーズな移行が求められています。本人の意思決定に基づいた医療・介護を提供し、どのような場所でも充実した緩和ケアを提供できるようにする為、関係者間での連携が重要になってきます。具体的には、自宅で療養する患者さんの元を訪問診療の医師や看護師が訪問し、痛みの管理、症状の緩和、心のケアを中心とした看護を行います。オムツ交換や食事介助などを訪問介護、入浴が難しくなった場合は訪問入浴、介護用ベッド、車いすのレンタルもできます。穏やかな気持ちで残された日々を自分らしくより良く過ごせるようサポートしていきます。

～作品介绍～

H様の手織り作品



月に1回の移動支援で、「さをり織り」を楽しみに、おでかけ広場・ふじた亭に通っています。糸選びから、糸巻き、織りまで、手慣れたものであつという間に織りあげています。

～耳より情報～

人生100歳時代の新しい介護術を学びませんか・・・

「在宅支援介護講座」のお知らせ

日時：8/5・9/2・10/7・12/2・2/3・3/2(第1土曜)9:00~12:00

場所：まごころ広場(文京事務所1階)

参加費：無料(1回の参加もできます)

生活とりハピリ研究所代表三好春樹著

「いちばんわかりやすい介護術」を学ぶ他、毎回テーマを変えて介護の知識を身につけます。介護に関心のある方、ご参加下さい!

問合せ：一宮まごころ TEL73-8708

～知っておきたいヘルパーの知識～

「現任介護職員研修」に参加して

6月22(木)尾西学習センターの研修に参加しました。

テーマは「介護職員として知っておきたい薬の基礎知識」でした。

高齢者の多くは薬剤を服用されており、利用者の多くの方が自身での管理ができない、きちんと飲めない、と感じておられるのではないのでしょうか？

仕事をしていて、感じることは、薬の飲み忘れや、錠剤が上手く飲み込めない、残薬が沢山あるなど、利用者さんからの困りごとを聞くことがあります。気づきがあったら、そのままにしないで、相談にのり、薬の多量摂取はないか?体調の変化はないか?など常に確認するようにしましょう。家族、ケアマネへの報告も忘れないようにしましょう。

今回、薬の基礎知識を勉強して、利用者さんをより身近に感じ、薬への興味もわきました。ありがとうございました。

